

第11回 KPU シンポジウム報告書

本年度第11回KPUシンポジウムは、2020年11月1日(日)～2020年12月31日(木)の期間中オンライン配信にて開催しました。

計画当初は例年どおり5月ごろに対面での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染が日本でも流行りだしたころであったので終息を期待して5月の開催を延期して状況を見守っておりました。しかし、一時期は終息するかに見えましたが再流行する事態になり、対面での開催を断念しオンラインで配信することにしました。これまでは学外の先生による特別講演と学内の先生による一般講演で構成されていましたが、開催時期や対面で行うかオンラインに切り替えるかの状況判断が難しかったため学外の先生に依頼するのはご迷惑になると考え、今回は流動的に対応可能な学内の先生のみによる講演に限定しました。一般講演では、本学の4名の先生にご講演頂きました。松村千佳子講師（臨床薬学教育研究センター）、高山健太郎准教授（衛生化学分野）、石原慶一准教授（病態生化学分野）の3名の先生の基礎薬学から臨床薬学分野の薬学の専門的な講演に加え、一般教育分野 岸野亮示講師による「印度佛教の研究」について我々にとってあまり知らない世界の講演を視聴することができました。

期間中、学部学生、大学院生、教員の方々から290件のアクセスがありました。

今回の KPU シンポジウムは、未曾有のコロナ禍での初めてのオンライン開催となりましたが、ご講演頂いた先生方をはじめご協力をいただきました関係者の皆様に深謝しますとともに、新型コロナウイルス感染が一刻も早く終息し第12回KPU シンポジウムが通常通り開催されることを切に願っております。

KPU シンポジウム実行委員